

みやぎ地域・市民電力連絡会 学習講演会

2024年3月30日（土）13:30～16:30（開場13:00）

仙台市シルバーセンター第2研修室 青葉区花京院1丁目3-2

学習講演

「再エネと市民電力の未来」

FIT(固定価格買取制度)を利用して進められてきた市民発電所運動ですが、家庭用以外のFIT制度がなくなり、転換期を迎えています。しかも年々出力制御が強化され、新たに託送料課金制度が発足します。こんな難問を抱える中「市民発電所運動の今後はどうなるのか」を学ぶため、自然エネルギー分野で活躍されている環境エネルギー政策研究所（ISEP）所長飯田哲也氏の学習講演会を開催することにしました。



講師：飯田哲也氏

NPO法人 環境エネルギー政策
研究所(IEP) 所長

NPO法人環境エネルギー政策研究所(IEP)所長。1959年、山口県生まれ。京都大学・東京大学で原子核工学を学び、原子力産業や原子力安全規制などに従事後、「原子カムラ」を脱出して北欧での研究活動や非営利活動を経て、IEPを設立し現職。自然エネルギー政策では国内外で第一人者として知られ、先進的かつ現実的な政策提言と積極的な活動や発言により、日本政府や東京都など地方自治体のエネルギー政策に大きな影響を与えている。

追加報告

東北電力NWの再エネ出力誤制御の経過と問題点

(NPOきらきら発電市民共同発電所理事長 水戸部秀利 氏)

定員： 会場参加 100名・オンライン (Zoom使用) 100名

要事前予約：右のQRコードから申込み下さい →

オンライン申し込みの方には、当日参加URLとID・PWを送ります。

参加費： 無料

(予約締切：3月29日)



<https://x.gd/eSA1U>

主催：みやぎ地域・市民電力連絡会

問い合わせ：広幡 文 hirohata3888@outlook.jp
TEL 070-2010-3777